

# ルート作成 & ナビゲーション (BaseCamp編)

## 目 次

1. BaseCampでのルート作成手順 . . . . .	P 1
(1) ルートを新規に作成する方法 . . . . .	P 2
(2) 既存のトラック(軌跡)データをルートデータに変換して作成する方法 . . . . .	P 9
2. GPAMAP 66i / 67i の操作 . . . . .	P 16
Column 1 目的地までの距離を表示させる . . . . .	P 19
Column 2 完成したルートの主要ポイントの名前を変更する . . . . .	P 20

※Google Earthについては、カシミール3D編をご覧ください。  
BaseCampではkml形式のファイルを作ることはできませんので、  
掲載していません。

# ルート作成 & ナビゲーション (BaseCamp編)

普通は登山道が目に見えていますが、冬山などでは目に見える登山道が雪に埋もれるために知らないうちにルートを外れて遭難するということがあります。

また、冬山では雪崩を回避するために夏山と違うルートをとることが多々あります。

冬山などで遭難しないためには、登山道を目視せずにルートファインディングできる必要があります。

その為に、予め登山ルートを作成しておき、GPSでナビゲーションすればグーッとリスクが軽減されるとかと思えます。

ルート作成はGPSMAP66i/67i 本体でできますが、小さい画面でルート作成するのは現実的ではないので、パソコンを使用してBaseCampでルートを作成した後、GPSMAP66i/67i にアップロードするやり方を説明します。

## 1. BaseCampでのルート作成手順

この例では、春の雷鳥沢ルート（雷鳥荘～剣御前）は雪崩があるので、夏道を使用せずにキャンプ場から尾根に上がり込むルートをとります。このルートは地図には記載がありませんので、BaseCampでルート作成をすることにします。

作成は、「ルートを新規に作成する方法」と「既存のトラック(軌跡)データをルートデータに変換して作成する方法」の2通りのやり方を説明します。



## (1) ルートを新規に作成する方法

### BaseCampの操作

[手順1] BaseCamp を起動

[手順2] BaseCamp に参考にするトラック(軌跡)データを取り込みます。

「ファイル」→「マイコレクションにインポート」

※この例では、既存のトラック、立山(20210505)を取り込んで作成すること  
にします。

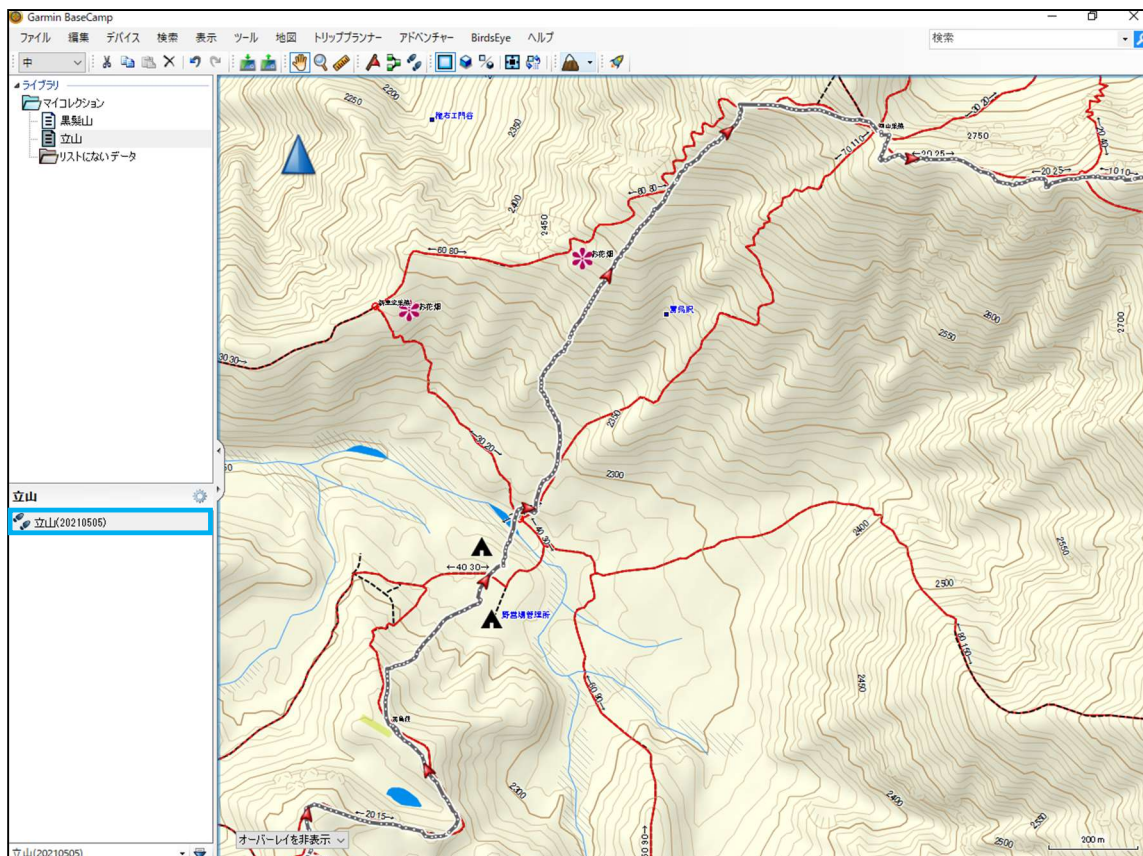
[GPS本体から取り込む方法]

GPSMAP66i/67i とパソコンを接続するとエクスプローラが自動的に開くので、  
Archive フォルダから参考にするトラックデータを選択します。

[パソコンから取り込む方法]

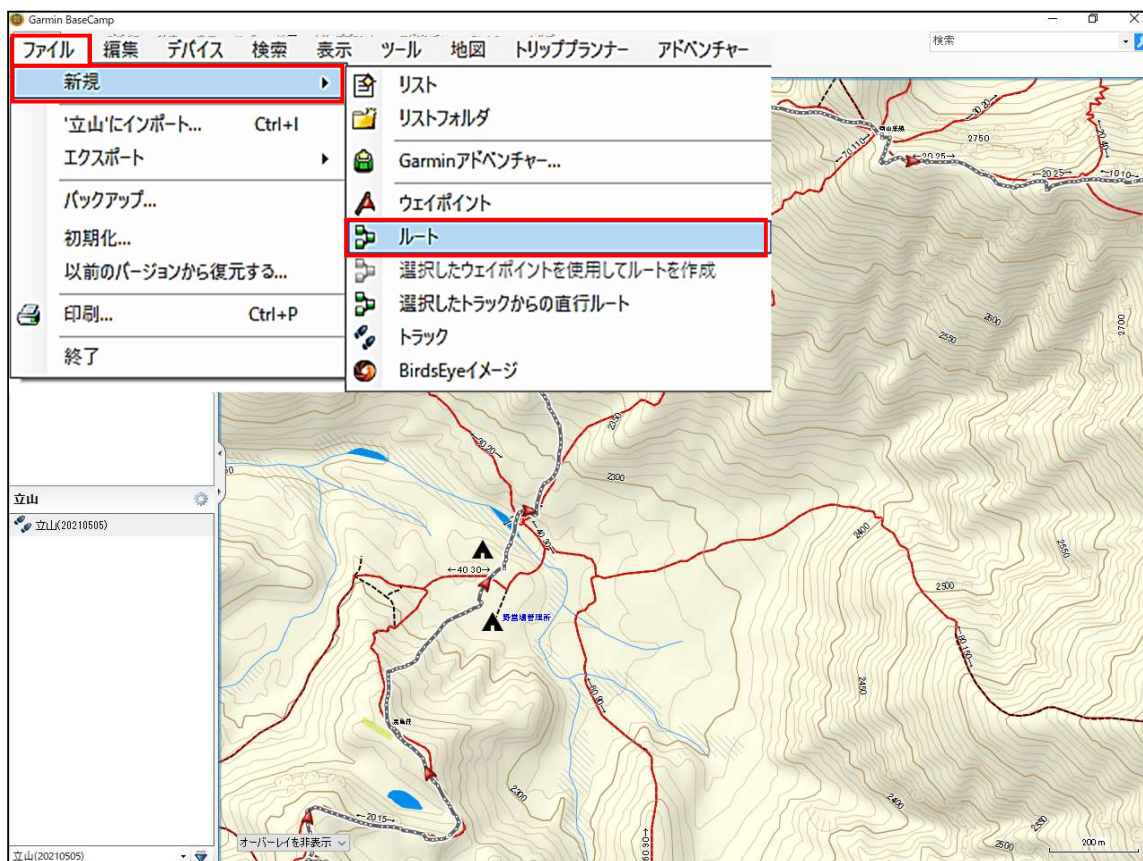
パソコンのフォルダから参考にする既存のトラックデータを選択します。

※参考にするルートは、「YAMAP」とか「ヤマレコ」などに投稿されて  
いるGPSログ または、書籍・地図などを参考にして下さい。




[手順3] ルート作成を開始します。

「ファイル」→「新規」→「ルート」




(注) 「新しいルート」という画面が出てきますが、これは始点と目的地の2点をドラッグアンドドロップすることで、ルートを自動作成してくれる機能です。  
**しかし、TOPO 10Mの地図を使用すると直線でルートを作成してしまうので、使用しません。(×で閉じます)**



[手順4] マウスポインタがペンに変わるので、既存のトラック上をマウスで左クリックして忠実になぞっていきます。

なるべくマップの倍率を上げて、詳細にルートをなぞっていきます。

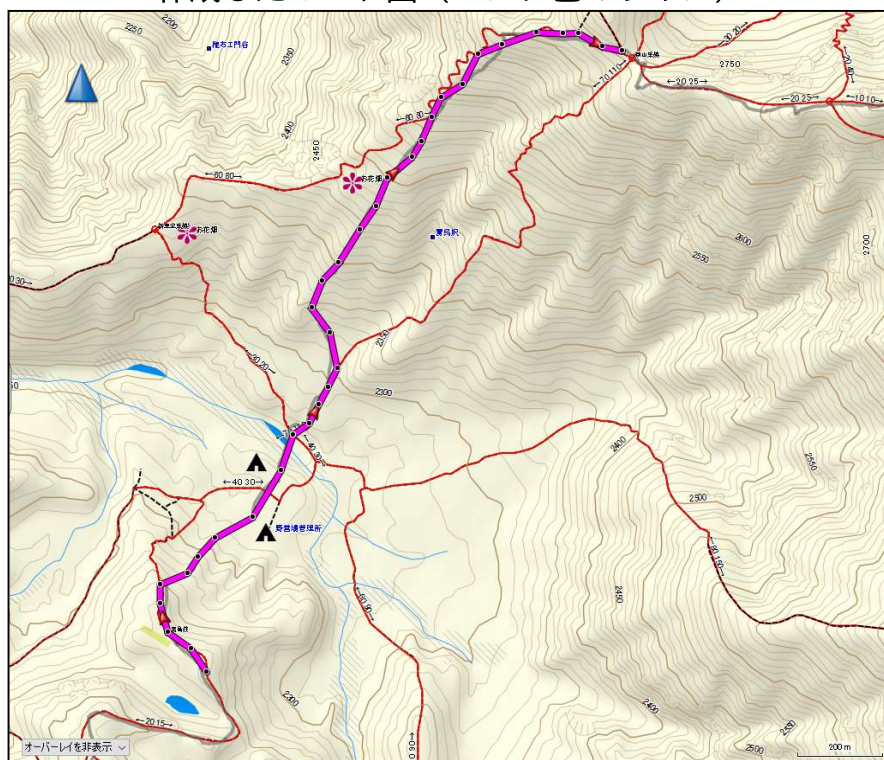
ルートを書き終わったら「マウスを右クリック」又は「Esc」を押します。

次の操作に移る場合は、手のシンボルをクリックします。

(注)参考にする既存のルートから外れてもカシミール3Dと違って、標高値はゼロになりません。



作成したルート図 (ピンク色のライン)

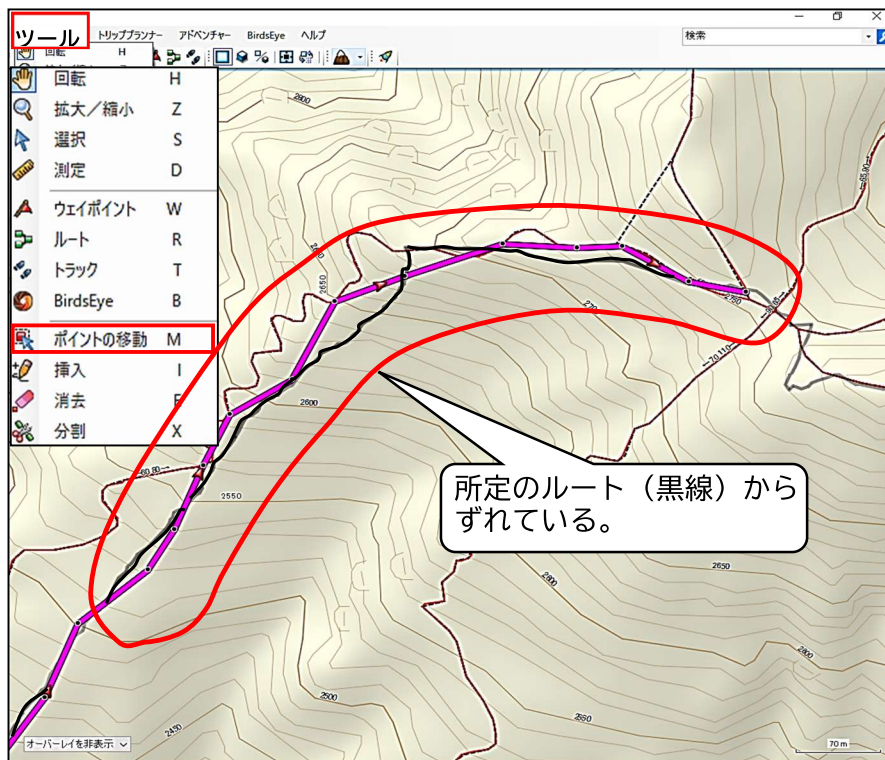


[手順5] 地図の倍率を上げてルートを確認すると所定のルートから外れている場合は、修正します。

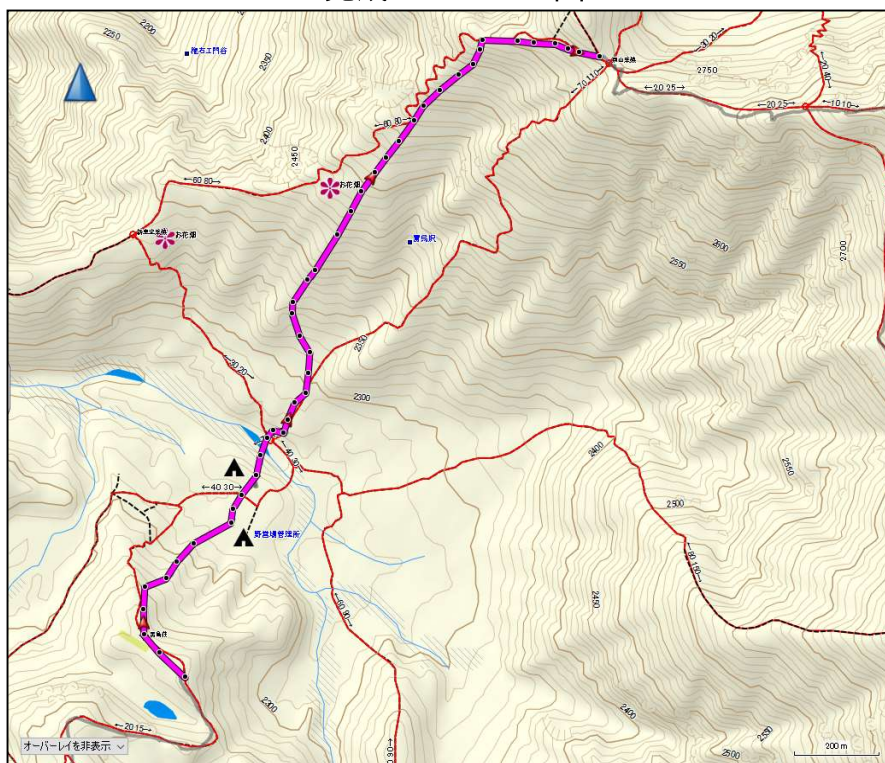
「ツール」→「ポイントの移動」

ポイントが足りない時は「ツール」→「挿入」

※コメント；ルートをなぞっていく時、ポイントがBaseCamp上の既存ルートに強制的に引きずられて、ポイントがずれてしまいます。

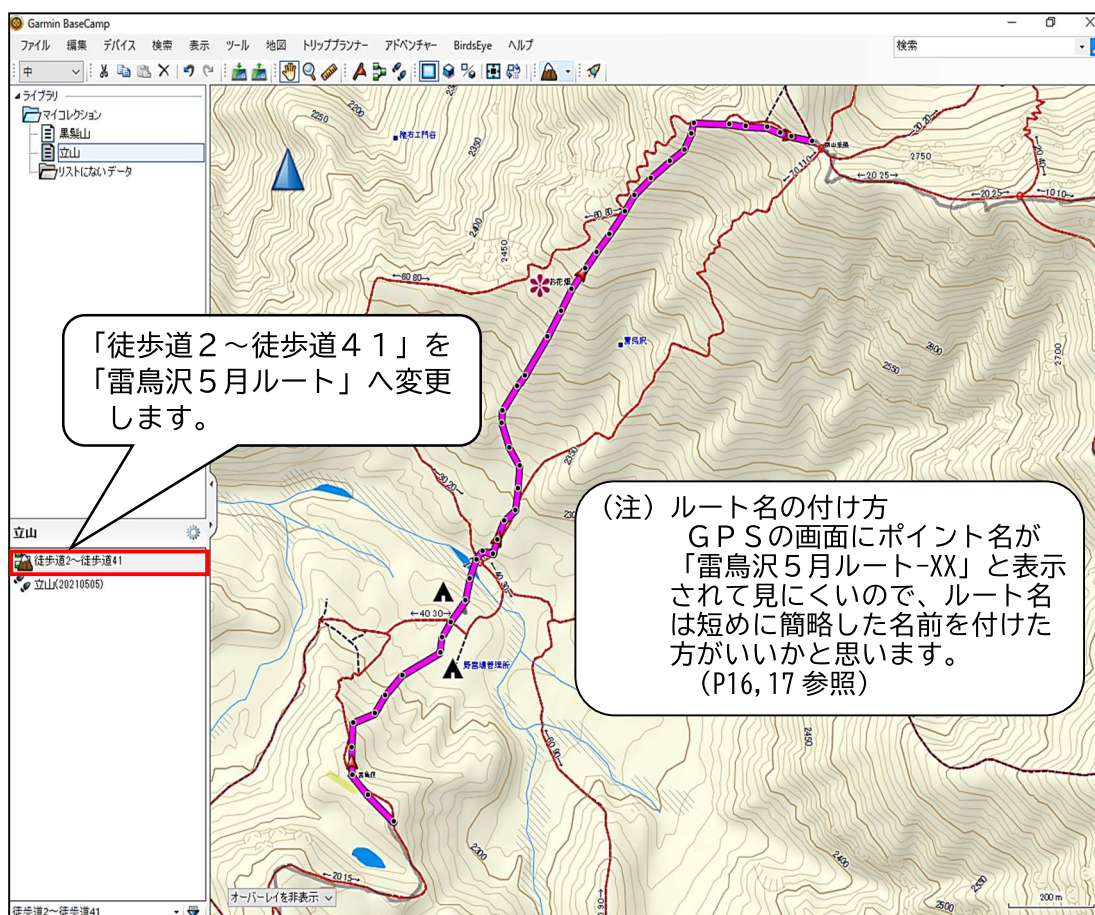


完成したルート図

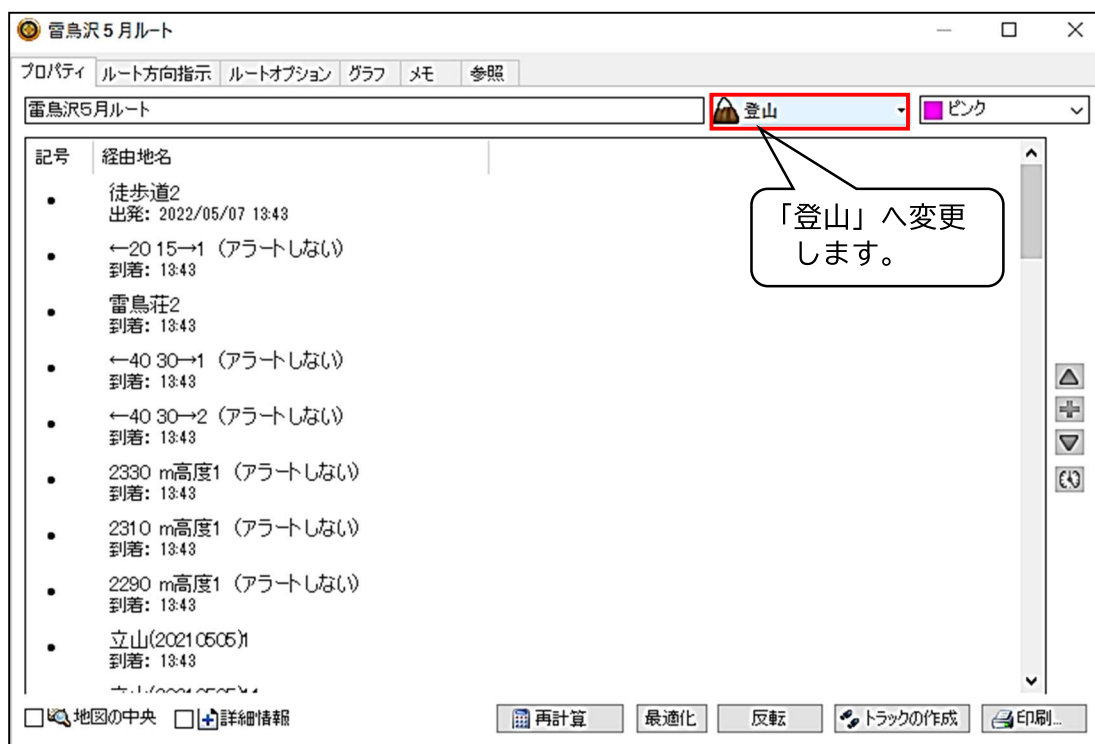


[手順6] ルート名の変更をします。

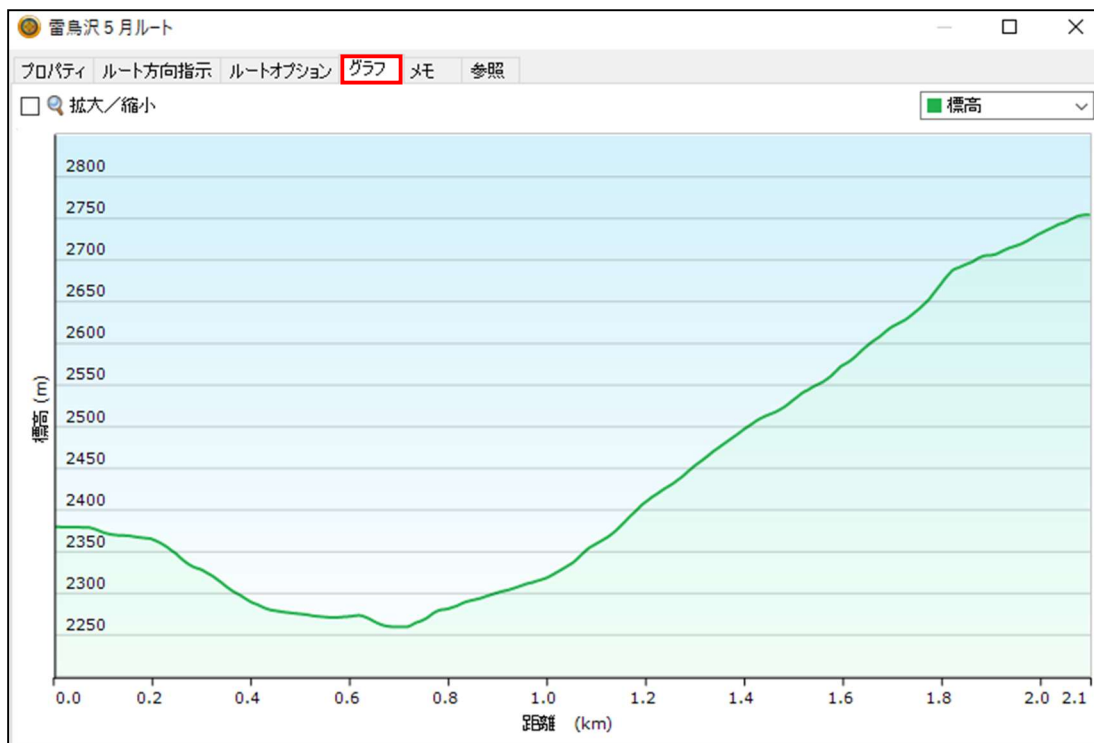
「マイコレクションのルート名の上でマウスを右クリック」→「名前の変更」



[手順7] マイコレクションのルート名上でダブルクリックし、作成したルートの確認をします。



グラフを開いて標高値がゼロの点がないか確認します。

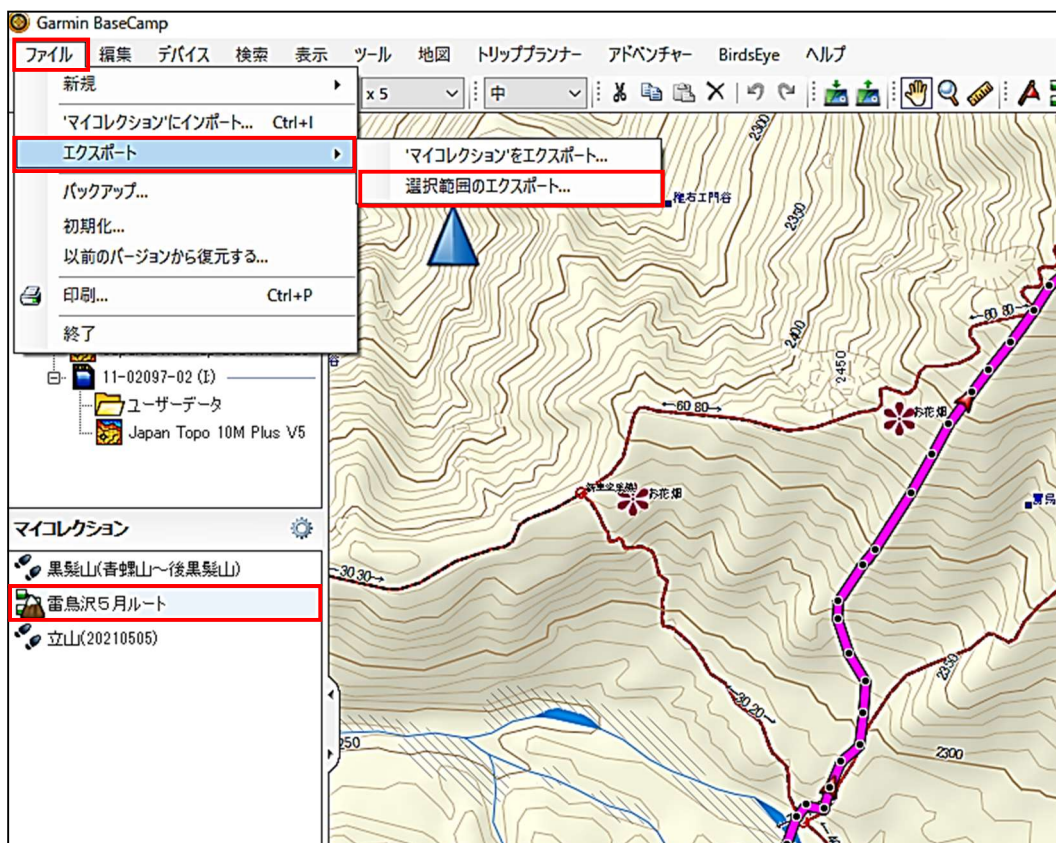


[手順8] ルートデータをGPS本体にアップロードするので、パソコンとGPSをUSBケーブルで接続します。

[手順9] 作成したルートを実機に保存します。

マイコレクションからGPSに送るルートを選択した後、次の操作をします。

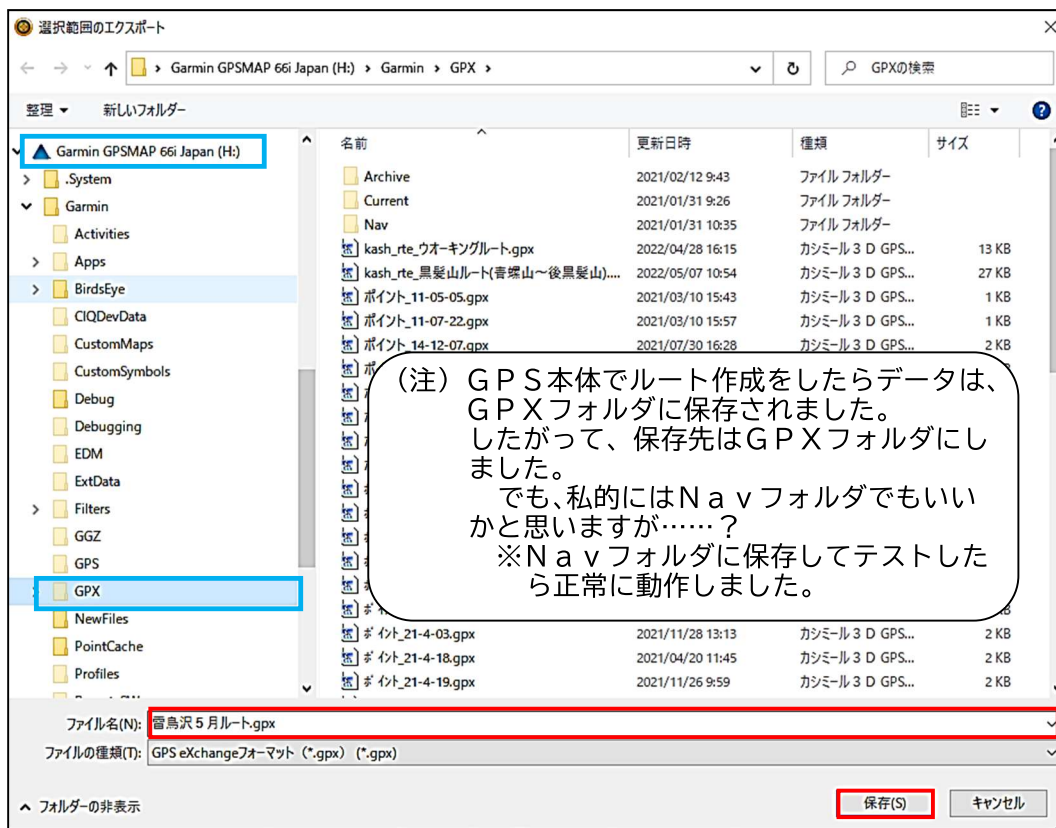
「ファイル」→「エクスポート」→「選択範囲のエクスポート」





次に、保存するドライブの指定をします。

この例では、ドライブは「Garmin GPSMAP 66i/67i Japan(H)」、フォルダは「Garmin\GPX」、を選択し、ファイル名は「雷鳥沢5月ルート」とします。最後に「保存」をクリックします。



## [別のやり方]

作成したルートを内蔵メモリーにドラックアンドドロップします。



但し、GPXフォルダに保存されたファイル名は「Route01.gpx」になりました。

しかし、GPS本体のルート作成画面では「雷鳥沢5月ルート」とちゃんと表示されました。どちらのやり方が良いのかは、迷う所です。

※ファイル構造については、当ホームページの「ファイル構造」に解説していますので、ご覧下さい。

## (2) 既存のトラック(軌跡)データをルートデータに変換して作成する方法

この例では、既存のトラック「立山(20210505)」を取り込んで作成することにします。  
立山(20210505)から不要なトラックを削除して、ルートデータを作成します。

### BaseCampの操作

【手順1】 BaseCamp を起動

【手順2】 BaseCamp に参考にするトラック(軌跡)データを取り込みます。

「ファイル」→「マイコレクションにインポート」

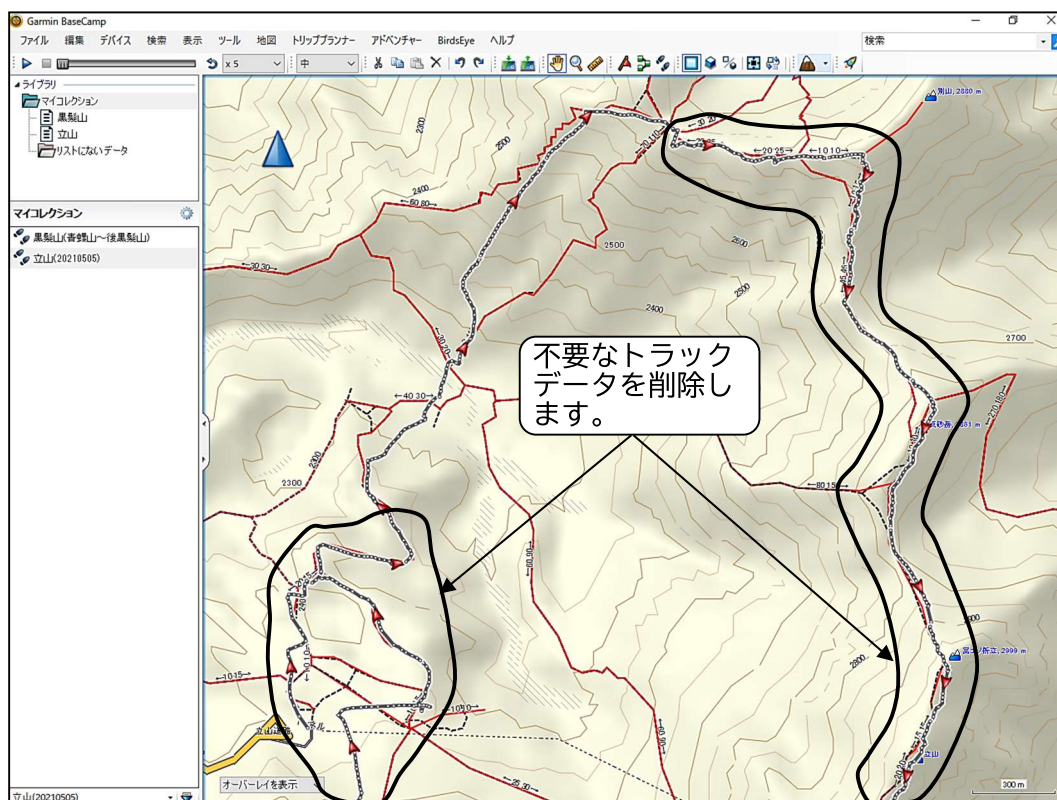
【GPS本体から取り込む方法】

GPSMAP66i/67i とパソコンを接続するとエクスプローラが自動的に開くので、  
Archive フォルダから参考にするトラックデータを選択します。

【パソコンから取り込む方法】

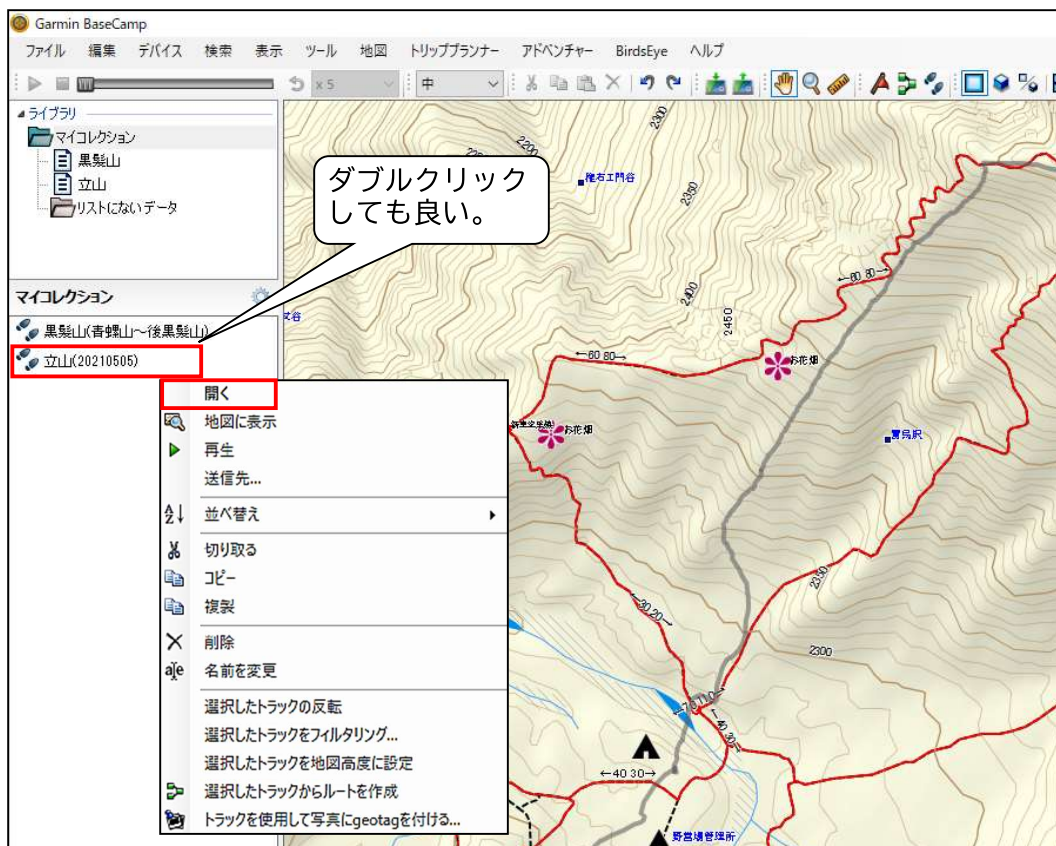
パソコンのフォルダから参考にする既存のトラックデータを選択します。

※参考にするルートは、「YAMAP」とか「ヤマレコ」などに投稿されているGPSログ または、書籍・地図などを参考にして下さい。



[手順3] プロパティ画面を開きます。

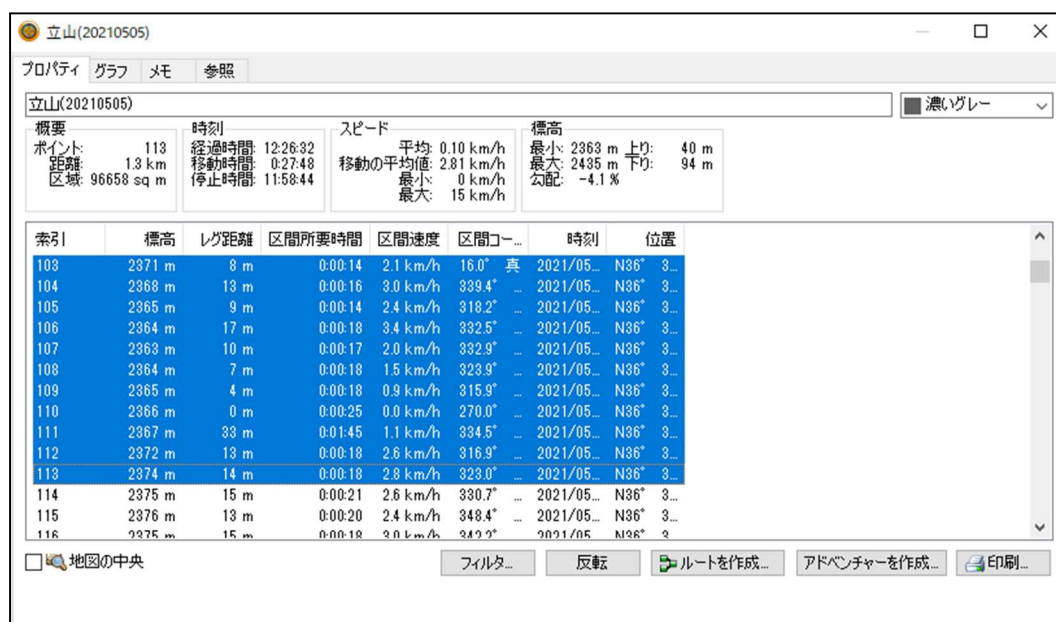
「マイコレクションのトラック名の上で右クリック」→「開く」



[手順4] 「Shift」キーを押しながら「↓」「↑」を押して削除する範囲を選択します。

(選択範囲は、トラック上のラインを参考にしながら選択します。)

次に、「マウスを右クリック」→「切り取り」または「Delete」キーで不要なトラックデータを削除します。

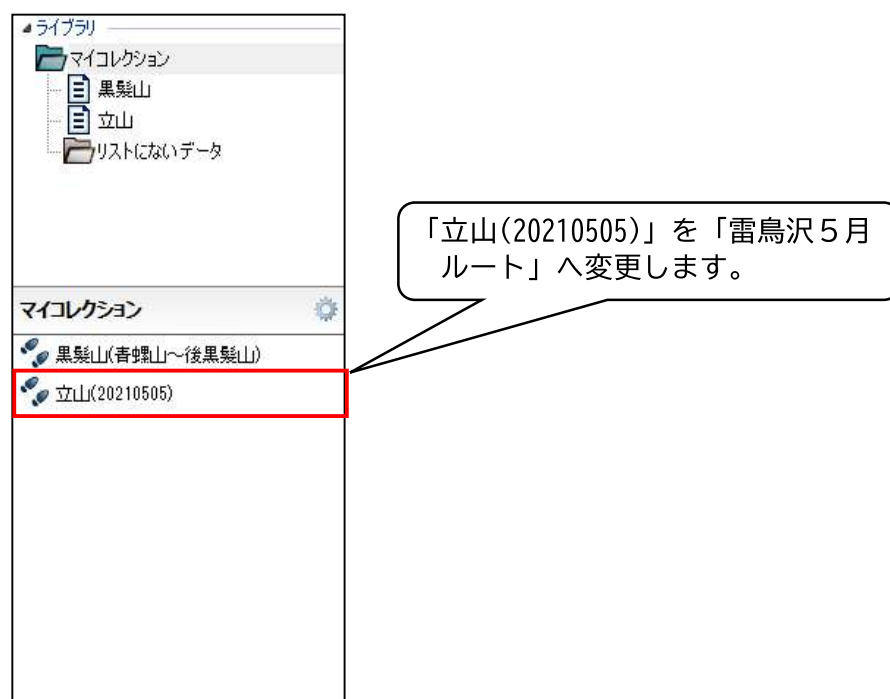


グラフを開いて標高値がゼロのポイントがないか確認します。



[手順5] 分割後のトラック名の変更を変換します。

「マイコレクションのトラック名の上でマウスを右クリック」→「名前の変更」

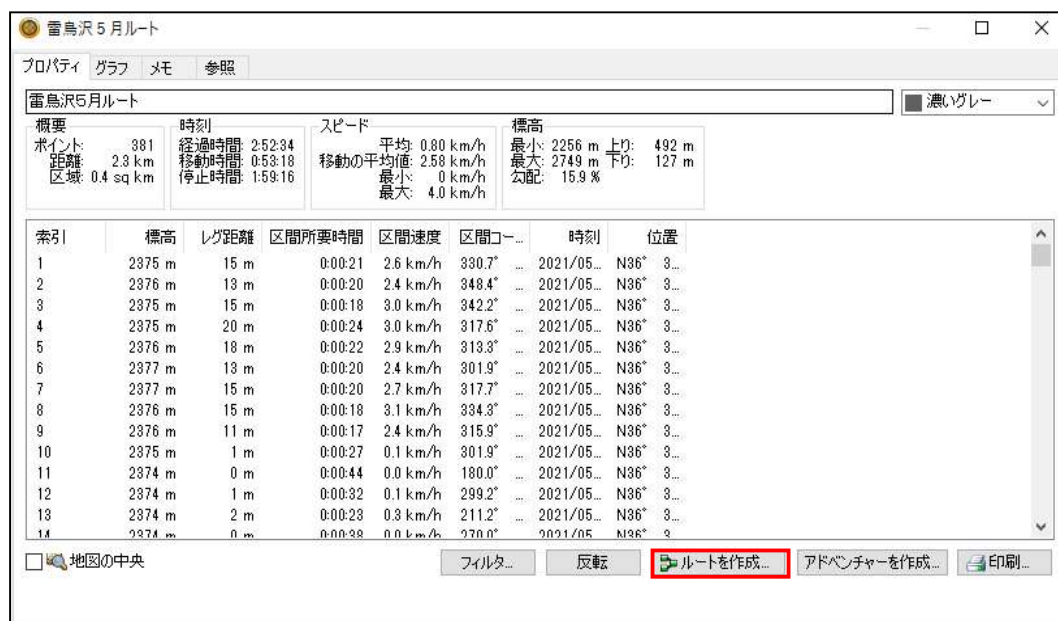


(注1) ここでトラック名の変更をする理由は、ルート変換した後の経由地名が「立山(20210505)」となってしまうためです。(手順7の画面)

(注2) ルート名の付け方

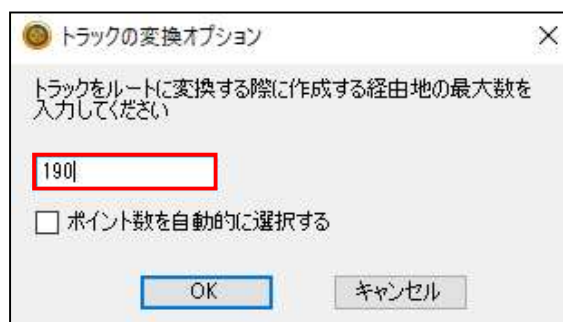
GPSの画面にポイント名が「雷鳥沢5月ルート-XX」と表示されて見にくいので、ルート名は短めに簡略した名前を付けた方がいいかと思います。(P16, 17 参照)

[手順6] トラックデータをルートデータに変換します。  
「ルートを作成」をクリックします。



次に、ポイント数の指定をします。

「ポイント数を自動的に選択する」と、あまりにもポイント数が減るので半分に指定します。続けて「OK」をクリックします。



ここでは、ポイント数を 1/2 に指定します。

381 ポイント → 190 ポイントへ

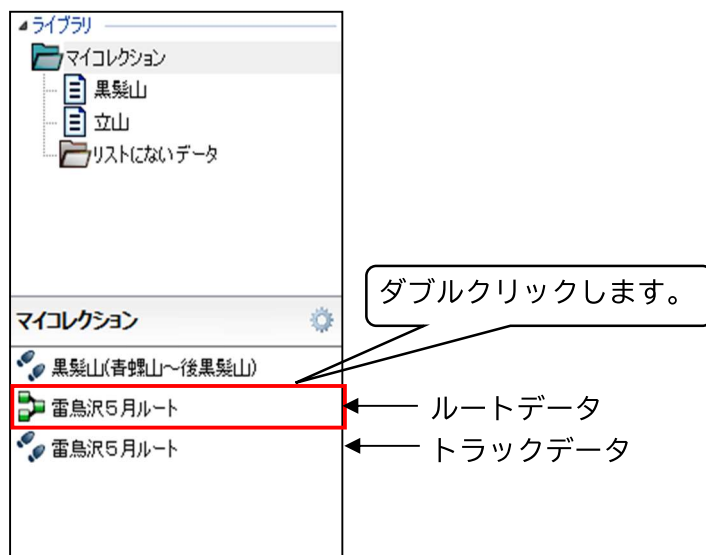
(出来上がったポイント数; 51 ポイント)

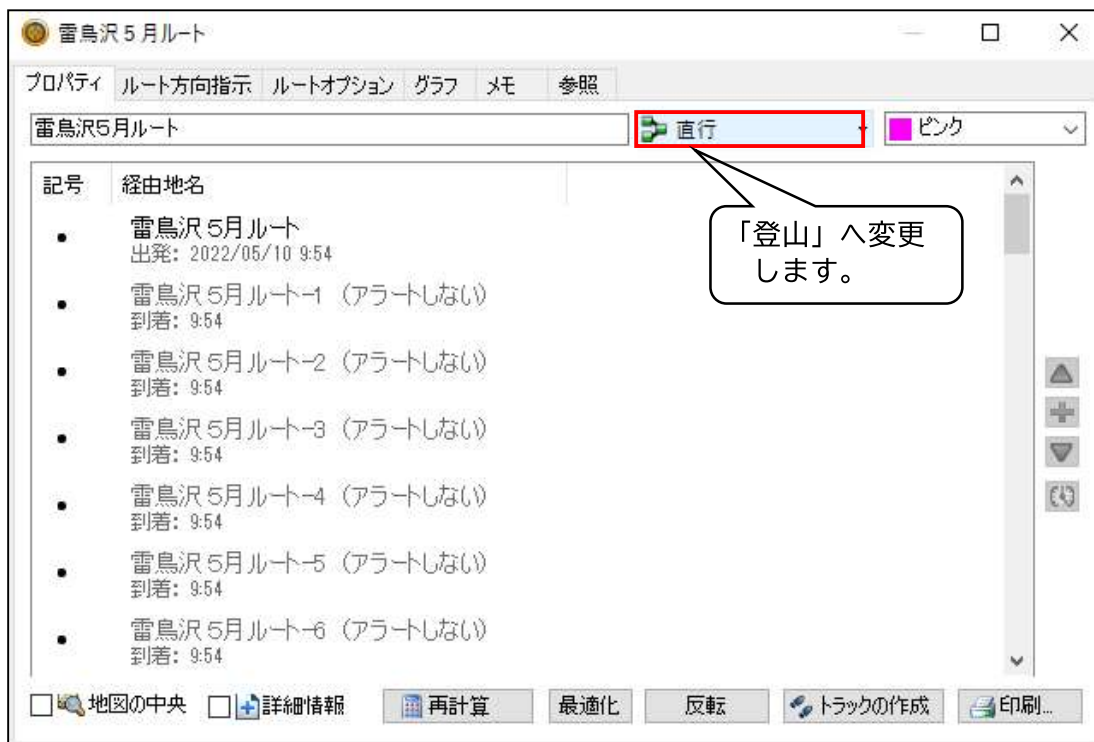
自動で作成した場合; 31 ポイント

(注) **ポイント数の最大は250です。**

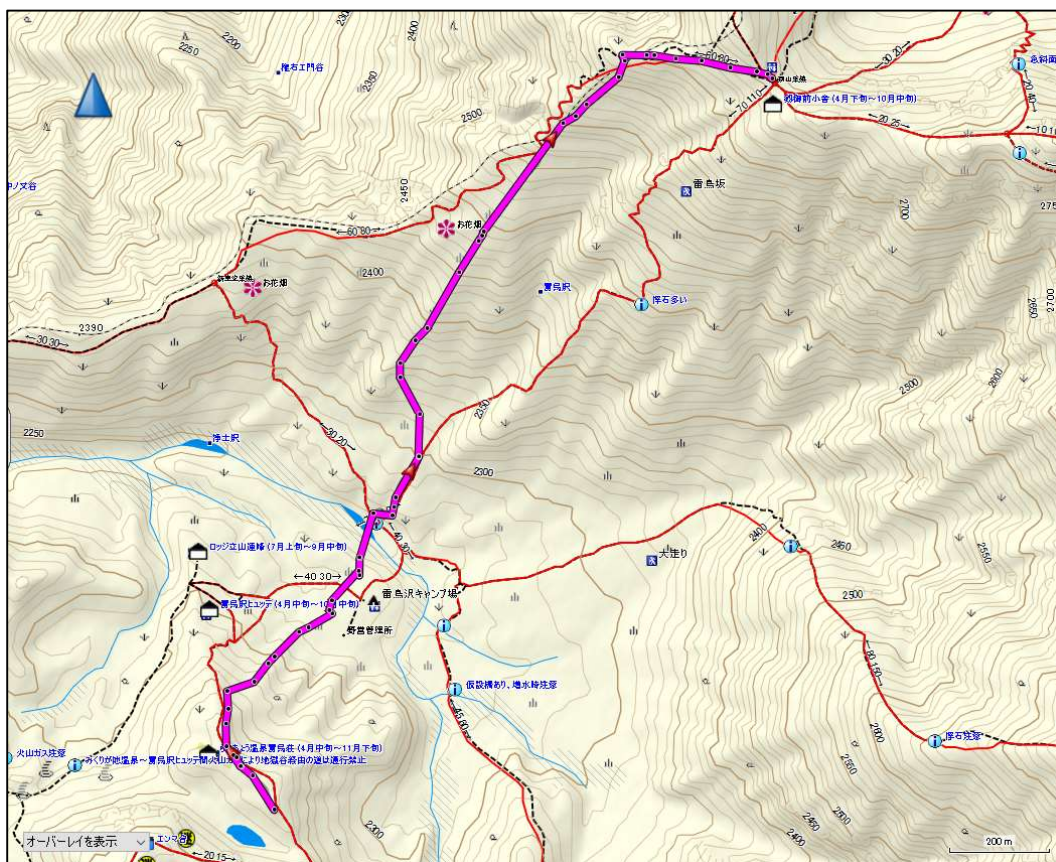
250 ポイント以上の場合は、GPS 本体では  
250 ポイント以降のルートは表示されま  
せん。

[手順7] マイコレクションのルート名上でダブルクリックし、作成したルートの確認をしま  
す。





完成したルート図

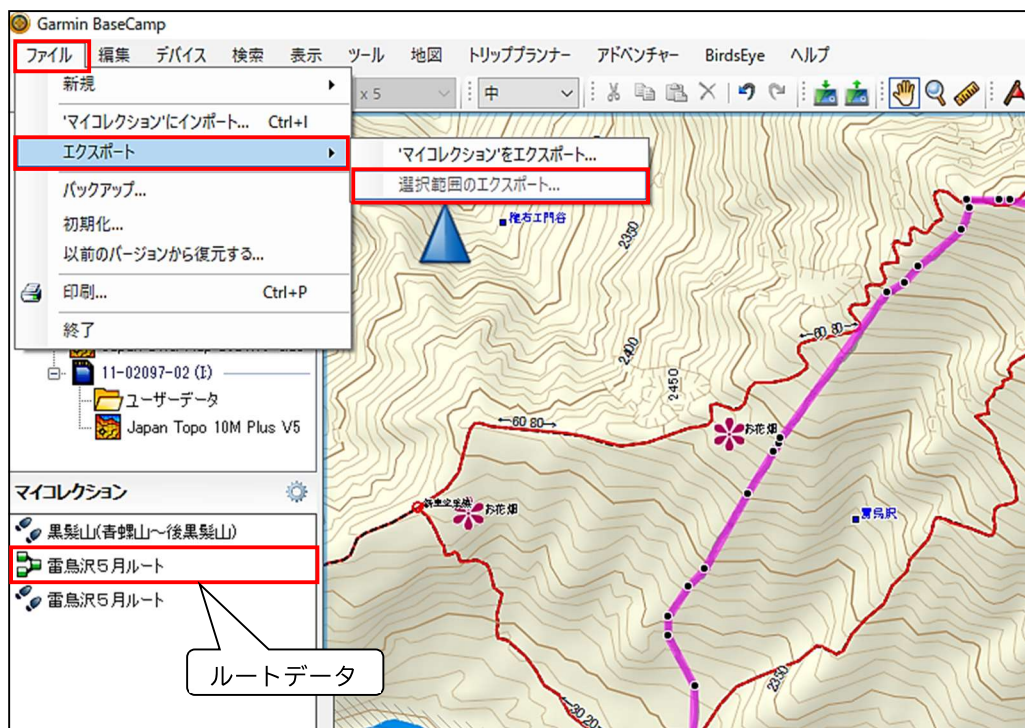


[手順8] ルートデータをGPS本体にアップロードするので、パソコンとGPSをUSBケーブルで接続します。

[手順9] 作成したルートをGPSに保存します。

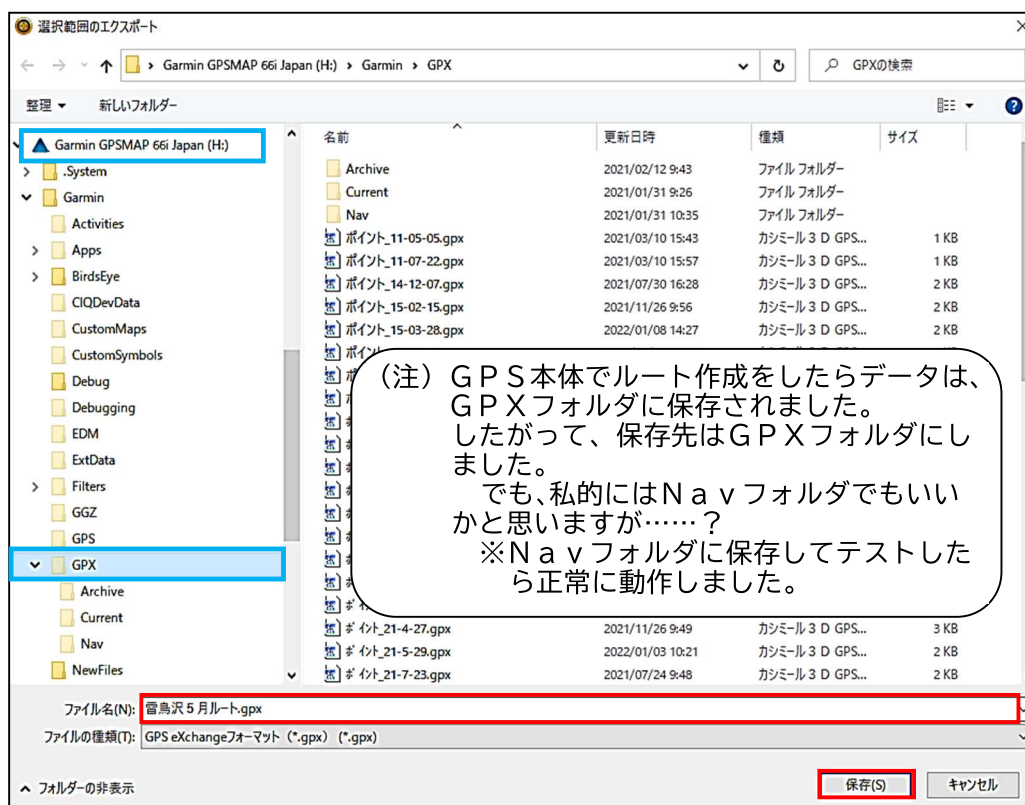
マイコレクションからGPSに送るルートを選択した後、次の操作をします。

「ファイル」→「エクスポート」→「選択範囲のエクスポート」



次に、保存するドライブの指定をします。

この例では、ドライブは「Garmin GPSMAP 66i/67i Japan(H)」、フォルダは「Garmin\GPX」、を選択し、ファイル名は「雷鳥沢5月ルート」とします。最後に「保存」をクリックします。



## [別のやり方]

作成したルートの内蔵メモリーにドラックアンドドロップします。



但し、GPXフォルダに保存されたファイル名は「Route01.gpx」になりました。

しかし、GPS本体のルート作成画面では「雷鳥沢5月ルート」とちゃんと表示されました。

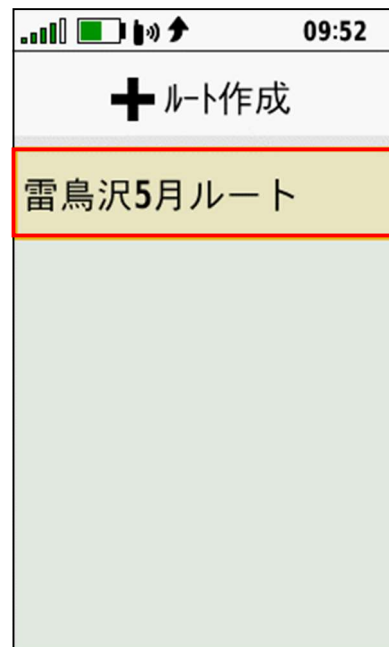
どちらのやり方が良いのかは、迷う所です。

※ファイル構造については、当ホームページの「ファイル構造」に解説していますので、ご覧下さい。

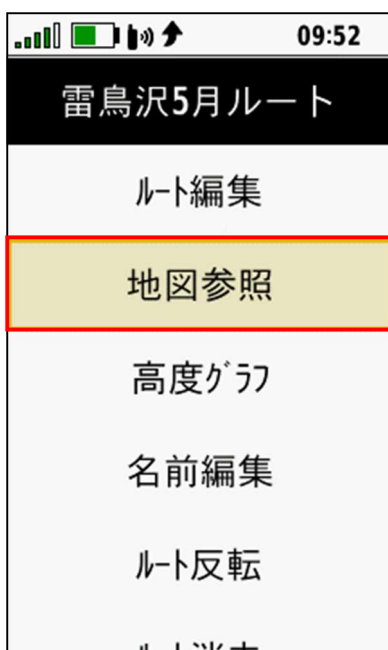


## 2. GPAMAP66i/67iの操作

[手順1] GPSの電源を入れ、「ルート作成」を開きます。すると先ほどアップロードしたルートが表示されています。



[手順2] 地図参照で先ほど作成したルート図を見ます。  
また、別ルートが表示されたら、ルートの探索方法の変更を行います。  
「設定」→「ルート探索」→「直行”いいえ”を”はい”に変更」



(注) ポイント名が「雷鳥沢5月ルート-XX」と表示されて見にくいので、ルート名は短めに簡略した名前を付けた方がいいかと思います。

同じ BaseCamp で作成したのに、ルート作成の手法によりポイント名（経由地名）の表示が違っています。

また、カシミール3Dで作成した場合も違います。

新規作成した場合



既存のトラックをルートに変換した場合



開始と終了点に  
📍が表示されています。

コメント； 既存のトラックをルートに変換した場合（右側）は、画面が輻輳して見づらいたと思いますが……？

どちらの方法で作るのか、または、カシミール3Dで作成するのか迷ってしまいます。

[手順4] GPSMAP66i/67i の「実行」ボタンを押して、ナビゲーションを開始（出発）します。  
 （この例では、便宜的にカシミール3Dで作成したルートデータで説明しています。）



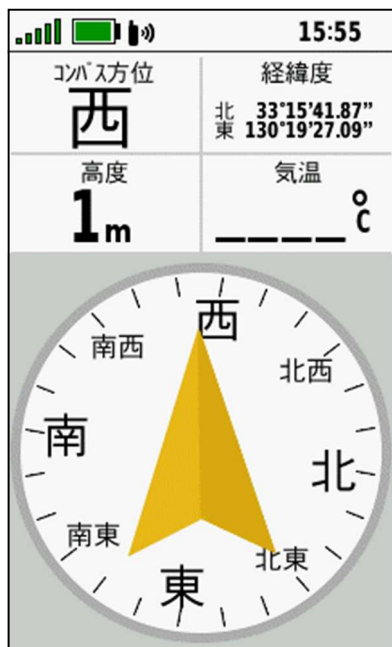
ナビゲーション中



ナビゲーション中に「実行ルート」を押すと →→



ポイント毎に  
 ・ポイント間の距離  
 ・進行方向  
 が表示されます。



ナビゲーション中にコンパスを表示すると、進行方向が表示されます。

▲は、目的地の方向を指します。



TEMPE ワイヤレス温度計



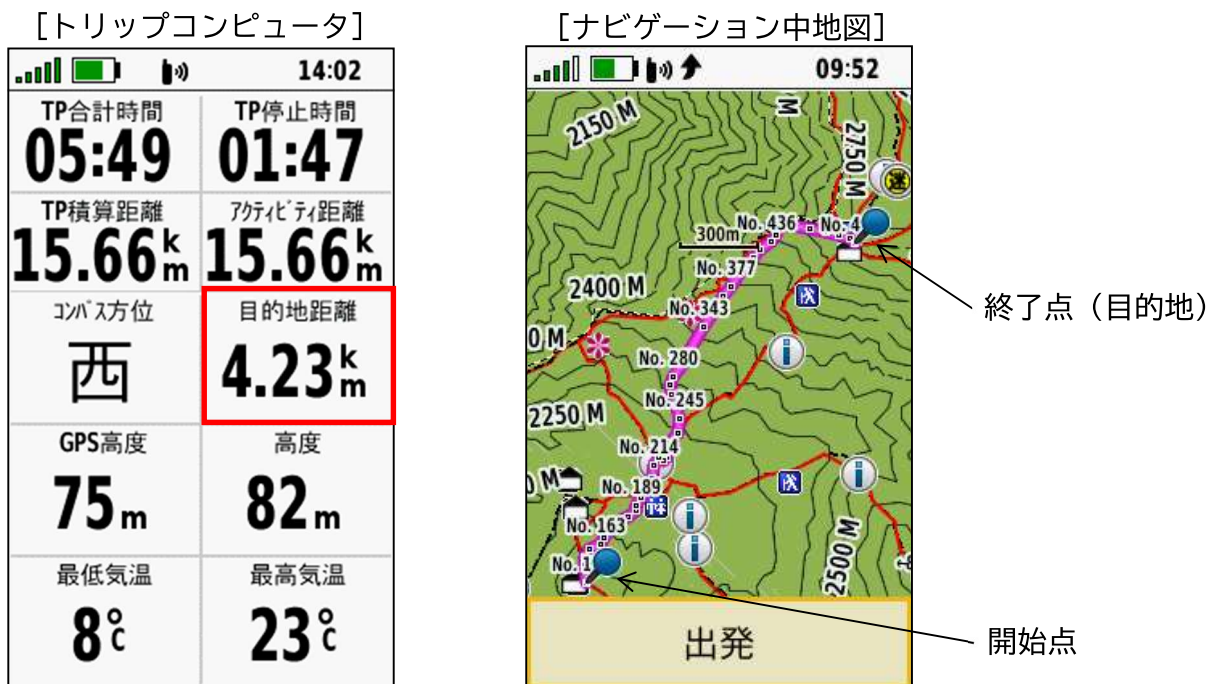
ナビゲーションを中止する時は、メニュー画面を押した後、「ナビゲーション中止」を押します。

## Column 1

### 【目的地までの距離を表示させる】

ナビゲーション中に目的地までの距離を表示させることができます。

トリップコンピュータのダッシュボードのデータ項目に「目的地距離」を設定すると、現在地から目的地までの距離が表示されます。  
ナビゲーションを中止すると表示されません。



(注1) 「目的地距離」に表示される数値は、ポイント間の距離を合計したものが表示されます。

ポイントに来る毎に距離が更新されます。

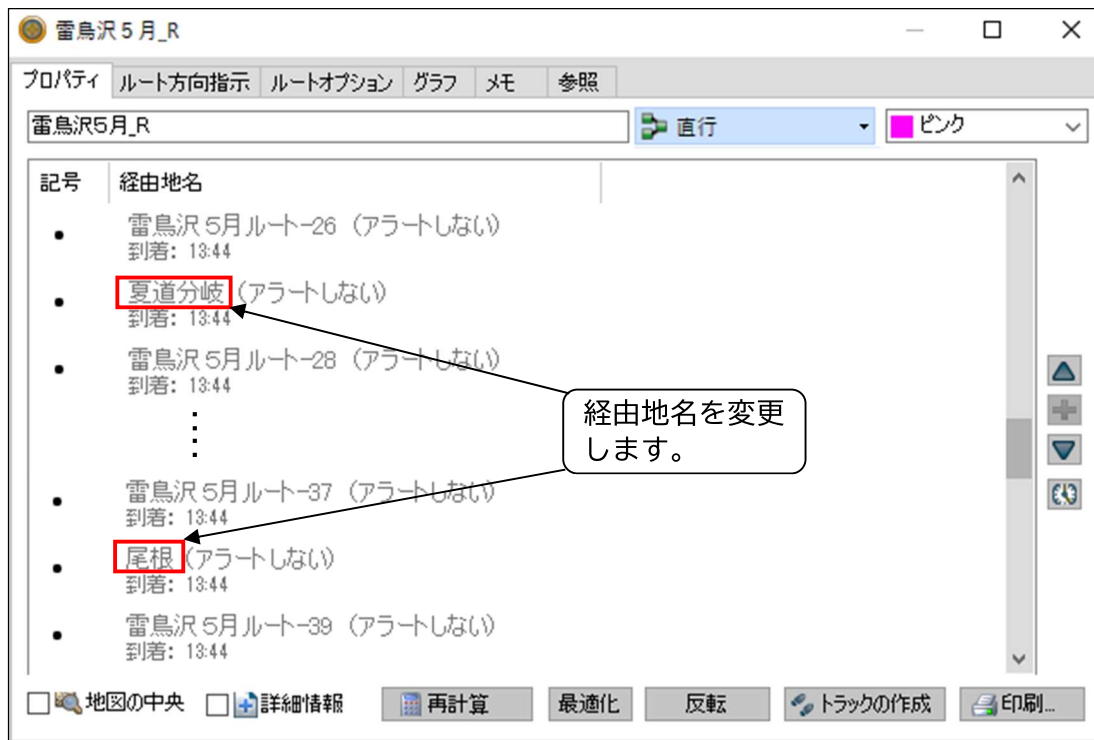
(注2) 目的地距離の他に目的地時間・目的地時刻などがあります。

貴方の使用目的に応じて設定して下さい。

## Column 2

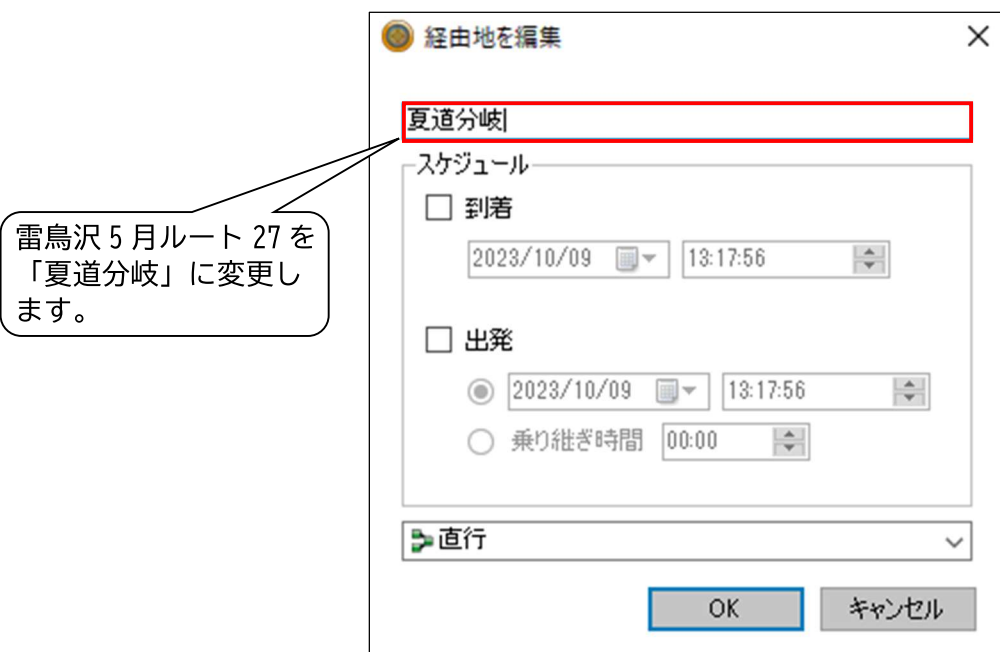
### 【完成したルート上の主要ポイントの名前を変更する】

BaseCampで作成したルートのポイント名（経由地名）が「雷鳥沢5月ルートXX」となり、GPS上で何を示しているか分からないので、主要（通過すべき）ポイントの何箇所かを分かり易い名前に変更しておく、ナビゲーションをスムーズに行うことができます。



### ポイント名（経由地名）の変更方法

「経由地名」の位置で右クリックし、「経由地を編集」で名前を変更します。



### 夏道分岐



### 尾根

